

特別支援学校の教員が抱える 給食時におけるCOVID-19対策の 困りごとに関する調査

猪俣英理, 遠藤眞美, 地主知世, 白田翔平, 野本たかと
日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座

目的

COVID-19は会食による感染が指摘され¹⁾、学校生活の中で給食は感染リスクが高いとされている。特別支援学校に通う児童生徒は摂食嚥下障害を認めることが多く、給食は単に栄養摂取の時間だけでなく、摂食機能を学習する重要な時間といえる。実際、教員だけでなく歯科医療職と医教連携による給食指導が行われていることもある。

当講座においては数校に対し給食指導を行っているが、コロナ禍では訪問して指導ができない場合があった。そのような経緯から、教員が給食に不安を抱えていると予想されたものの実態は不明であった。そこで、適切な支援が行えるように特別支援学校3校に対し、教員が感じる給食時のCOVID-19対策の困りごとの調査を実施したので報告する。

¹⁾国立感染症研究所：一般的な会食における集団感染事例について <https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2484-idsc/9910-covid19-25.html>. (2020.11.12アクセス)

方法

当講座が給食支援を行っている特別支援学校のうち、協力の得られた3校の教員に対し、質問票調査を実施した。

なお、本研究は日本大学松戸歯学部倫理審査委員会の承認を得ている(承認番号:16-009)。

対象:

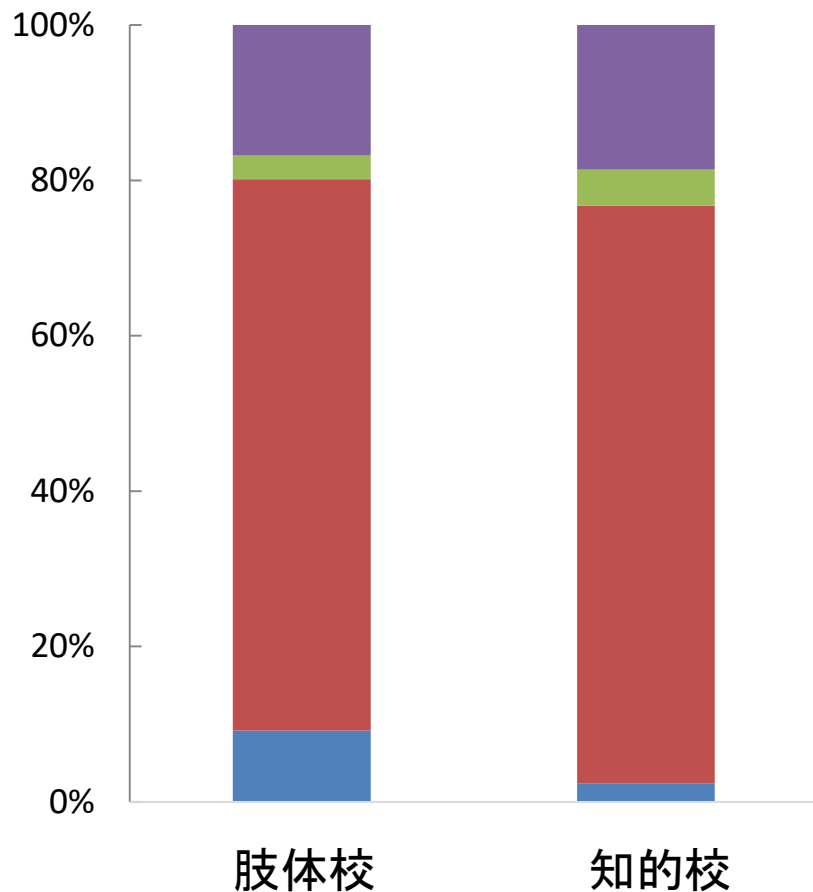
- ・A校:肢体不自由児校(回収:47人, 同意:41人)
- ・B校:肢体不自由児校(回収:106人, 同意:90人)
- ・C校:知的障害児校(回収:43人, 同意:43人)

解析はA+B校を肢体校, C校を知的校とし, 比較検討を行った。

調査項目:

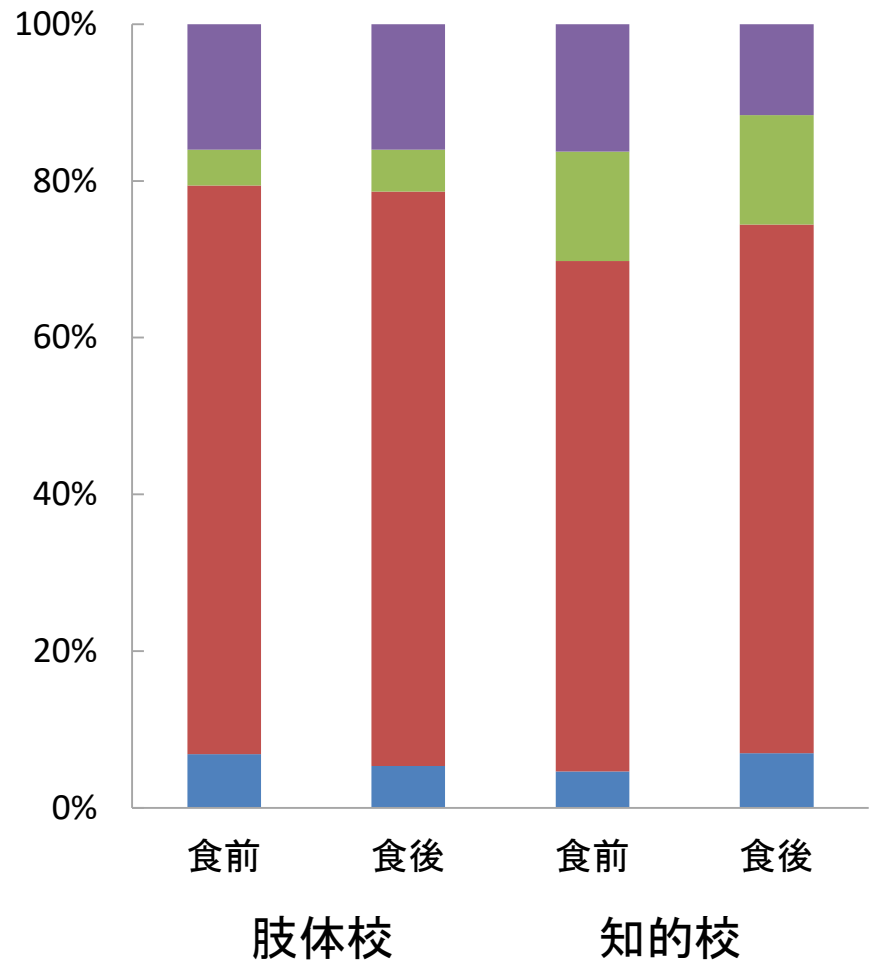
換気, 手洗い・消毒, 食事場所, 食事時の飛沫, 食事時間, 接触感染防止, ごみ箱の設置, 再調理, 食事介助, 口腔衛生

換気



食事場所の換気

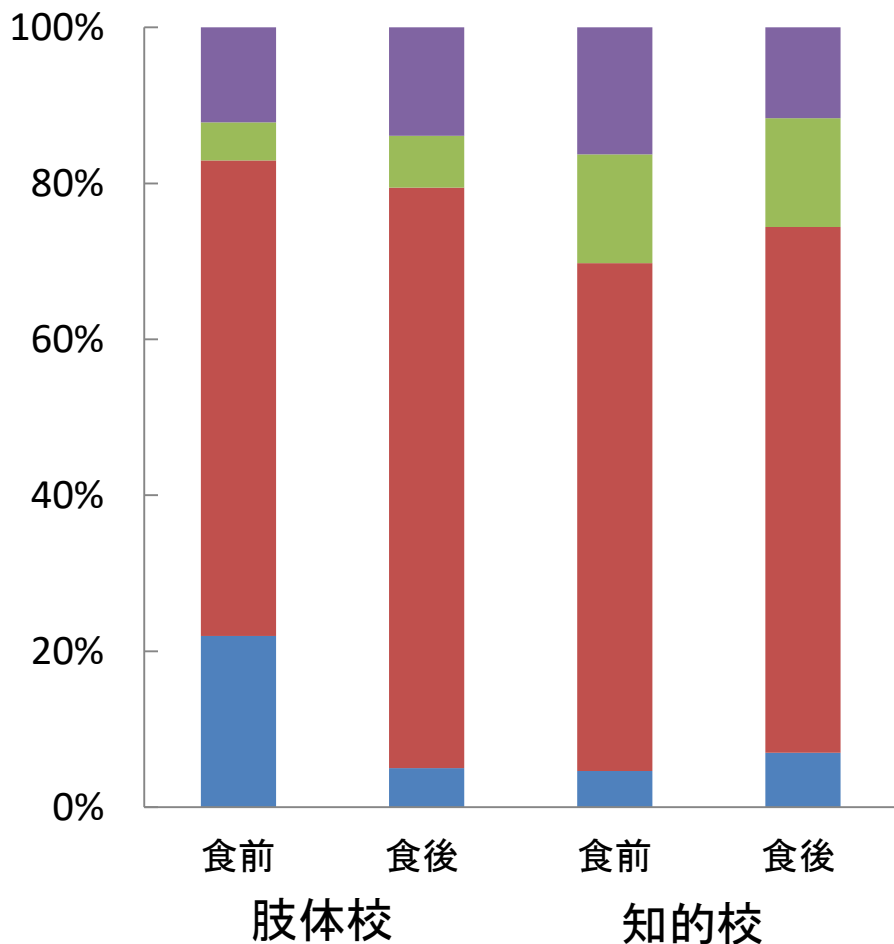
消毒



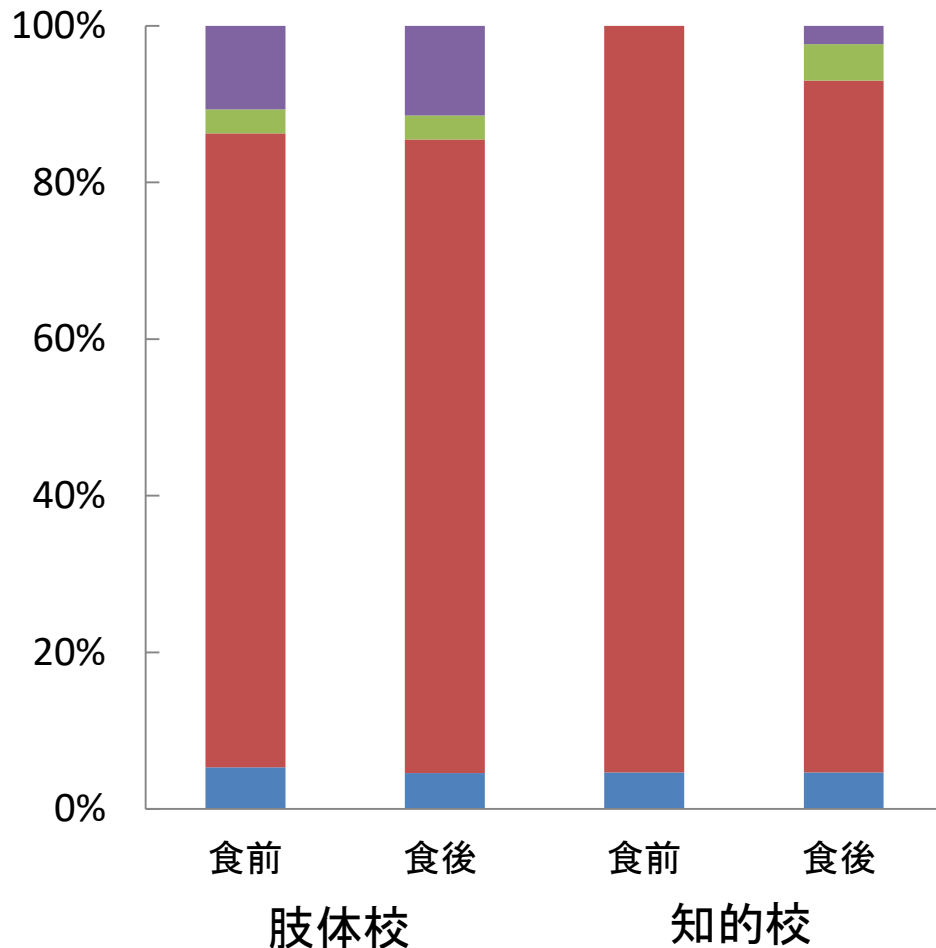
厨房・食堂の消毒

■ 困っている ■ 困っていない ■ 実施なし ■ 未記入

手洗い・消毒



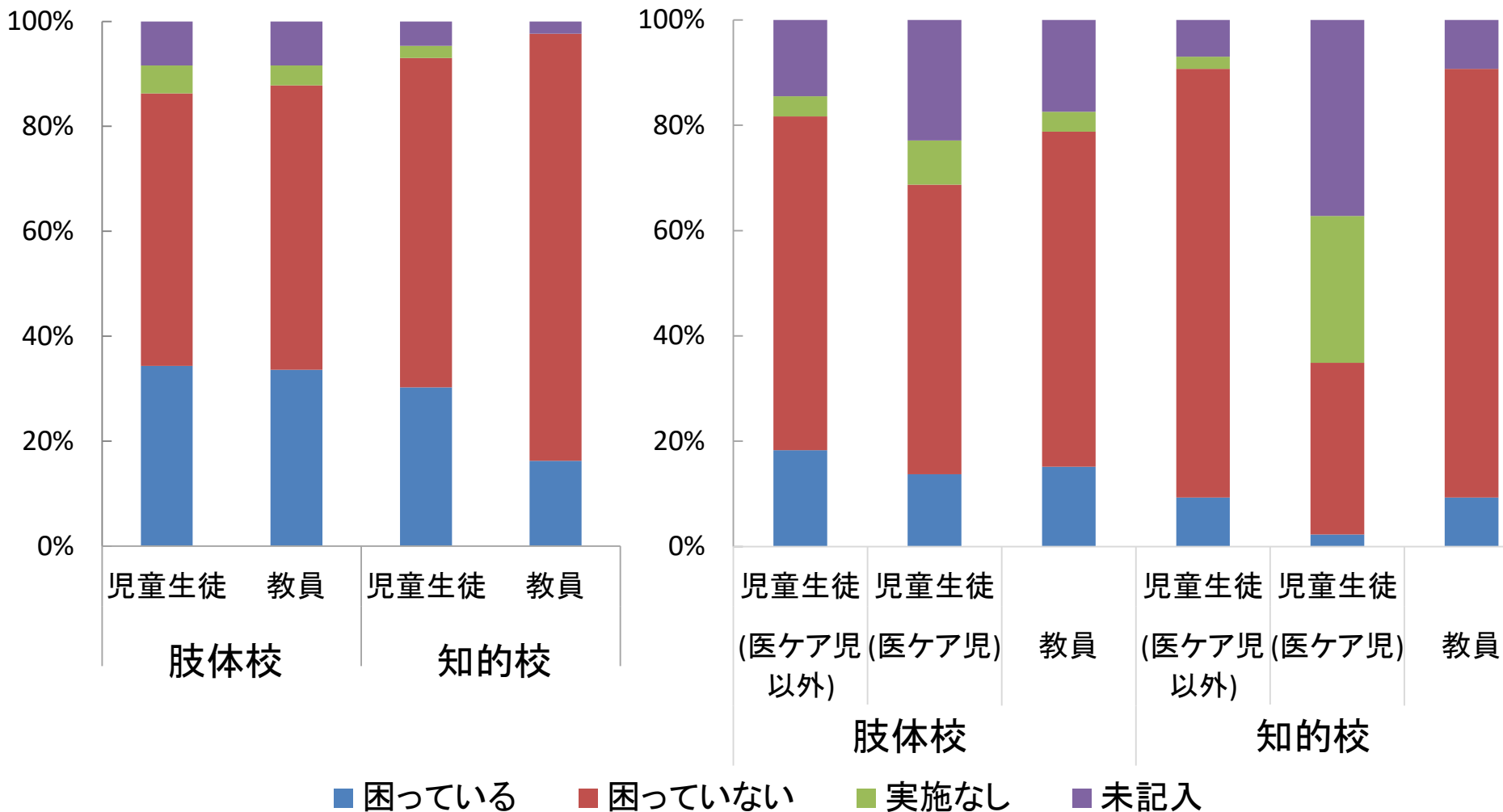
児童生徒の手洗い・消毒



教員の手洗い・消毒

■ 困っている ■ 困っていない ■ 実施なし ■ 未記入

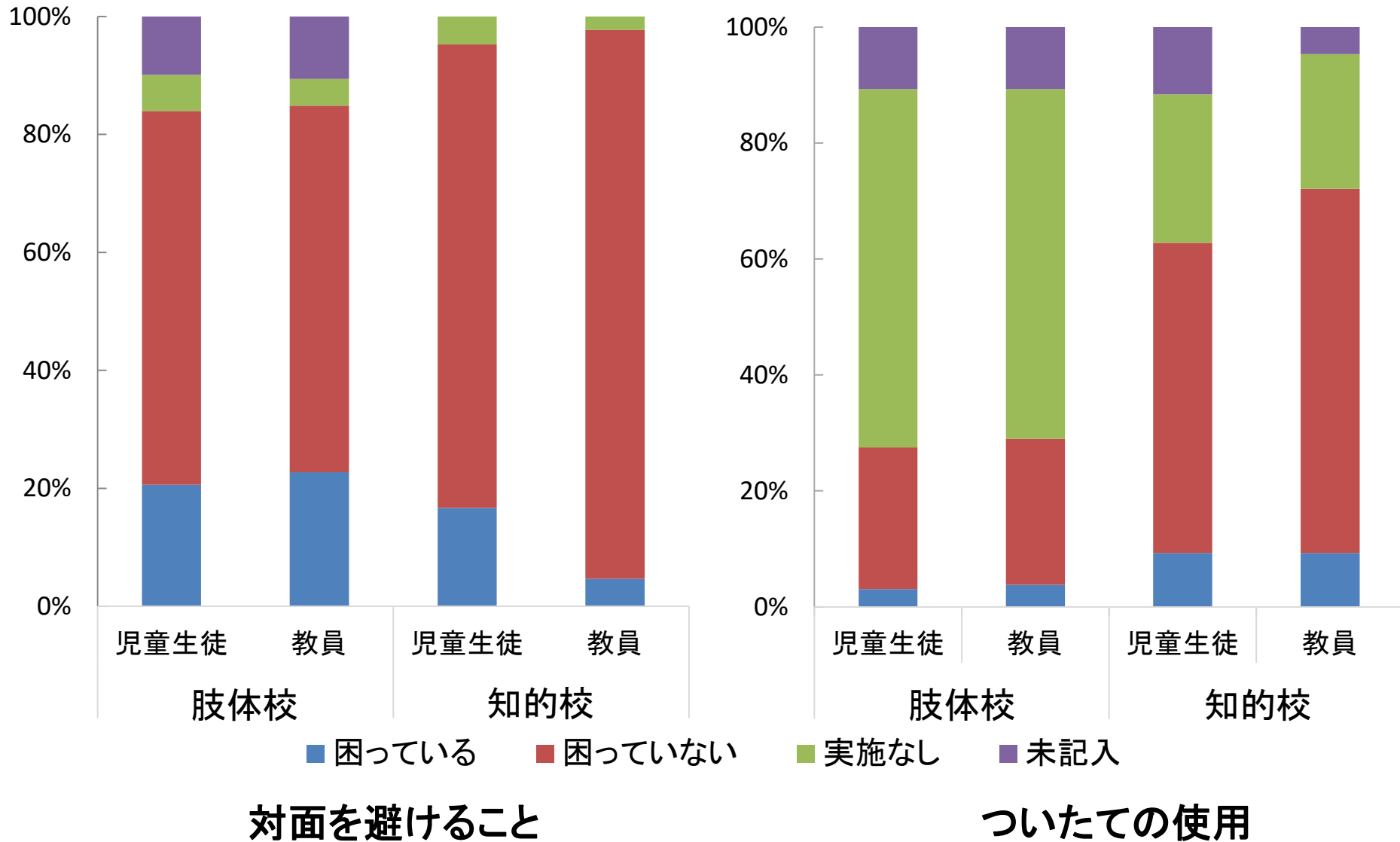
食事場所



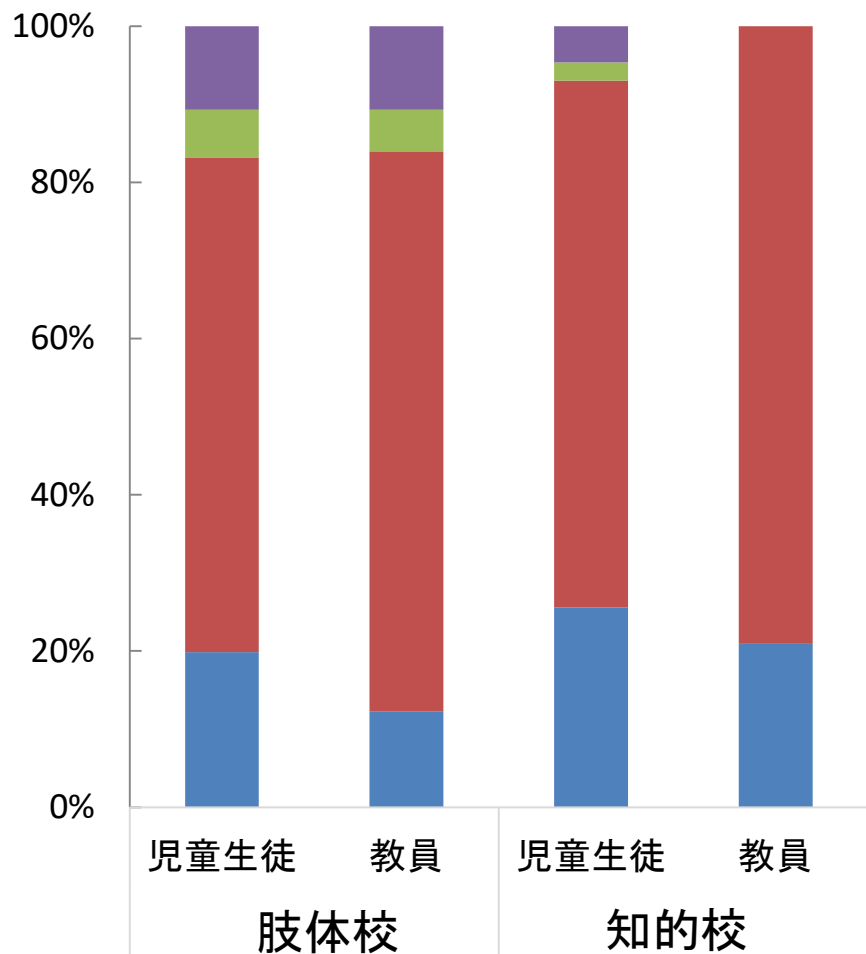
食事場所のソーシャルディスタンス

食事場所の確保

食事中の飛沫1

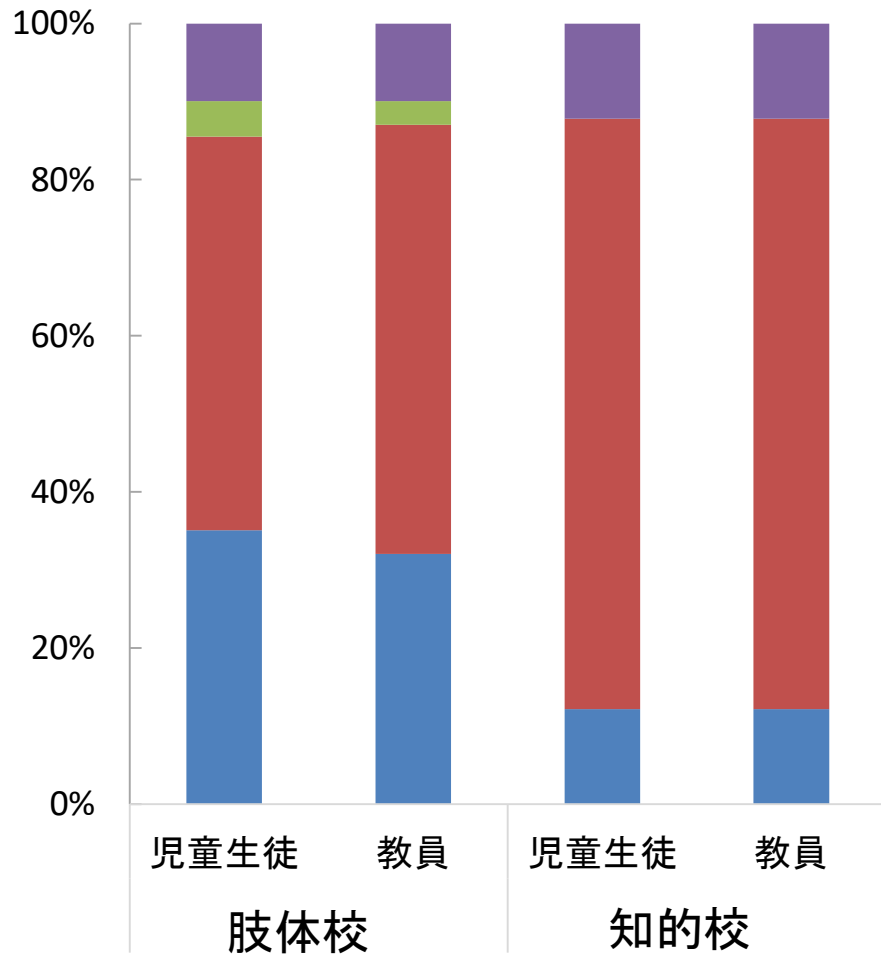


食事中の飛沫2



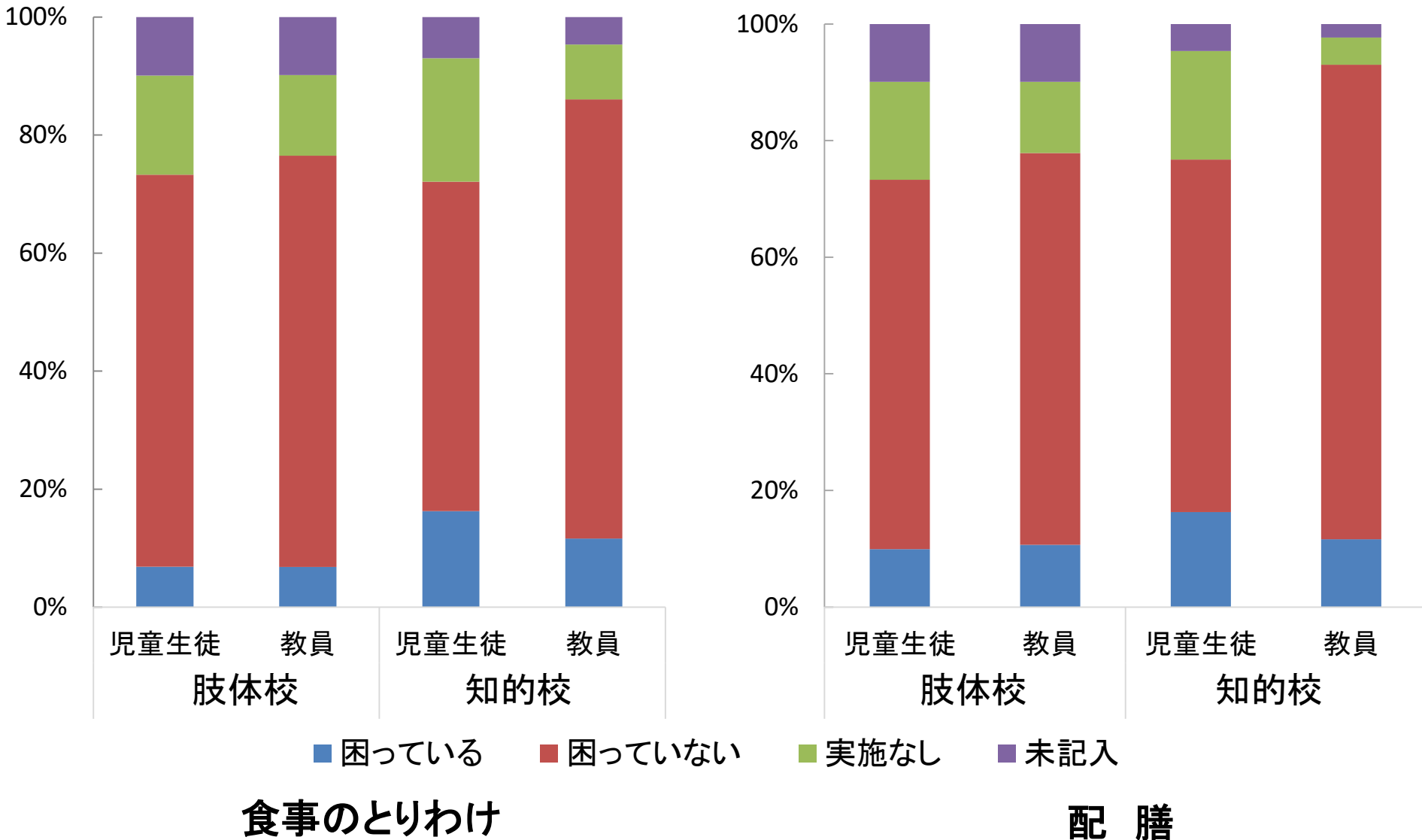
■ 困っている ■ 困っていない
会話を控えること

食事時間

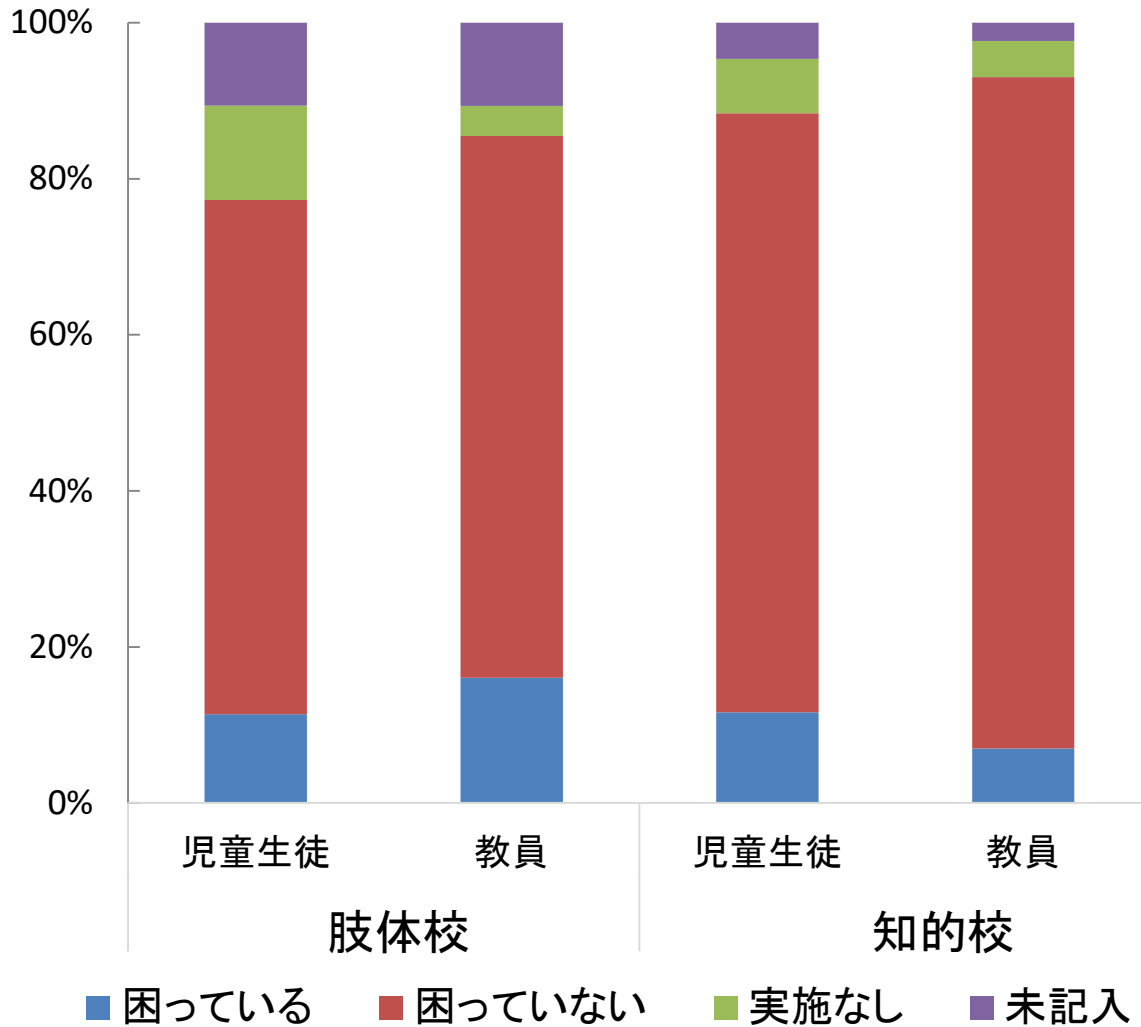


■ 困っている ■ 困っていない ■ 実施なし ■ 未記入
食事時間

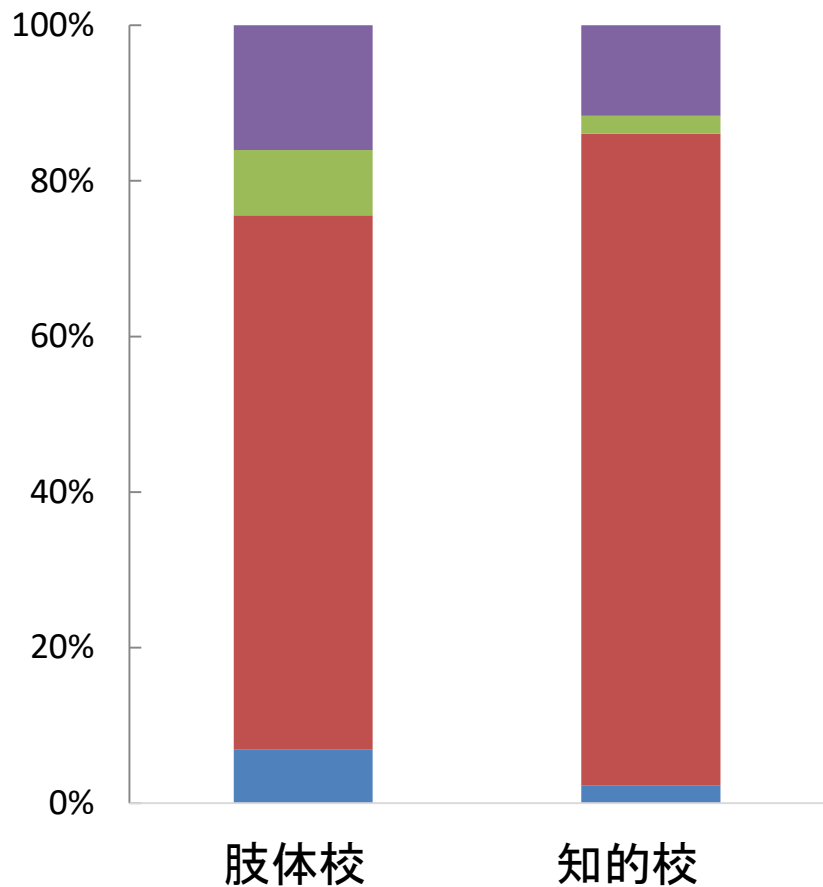
接触感染防止1



接触感染防止2

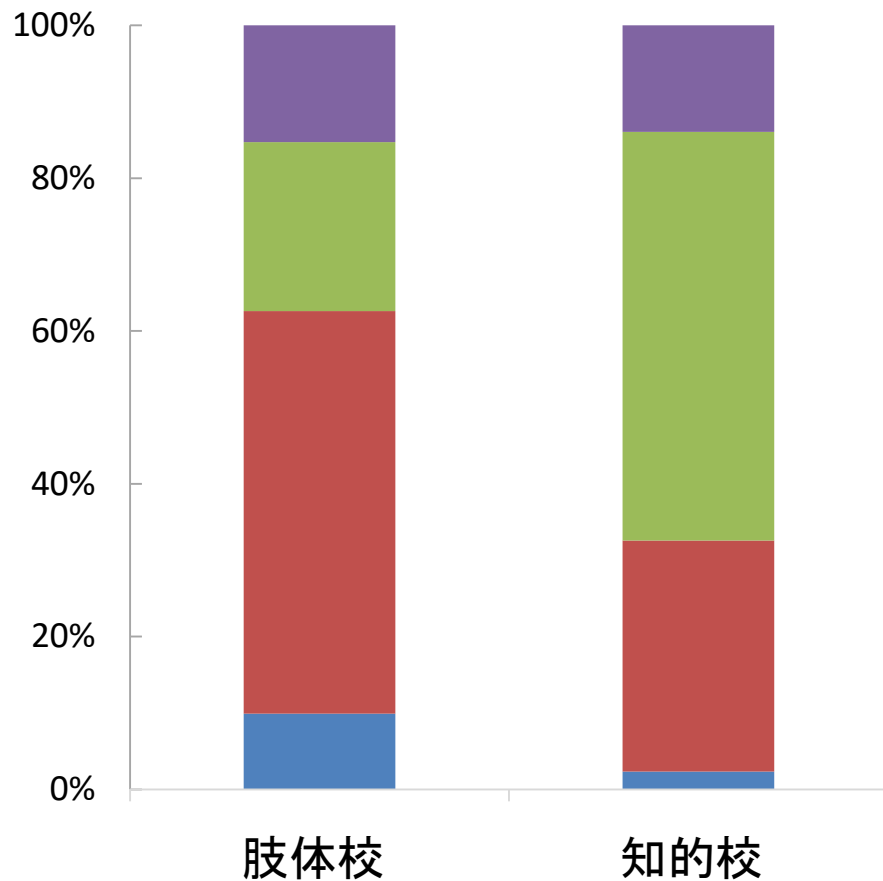


ごみ箱の設置



ごみ箱の設置

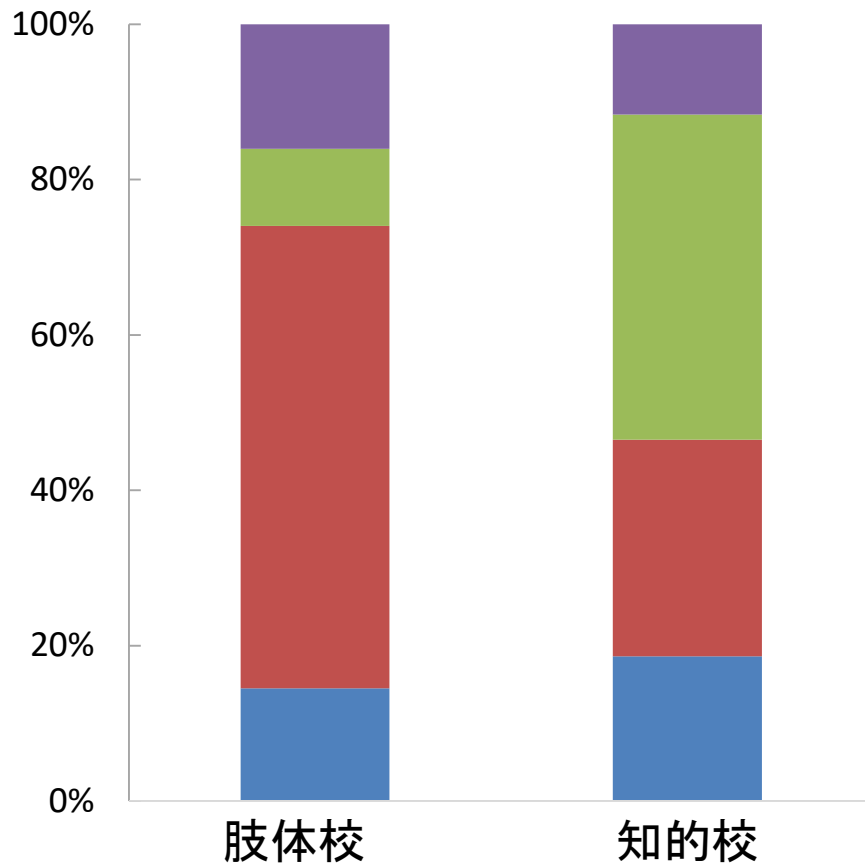
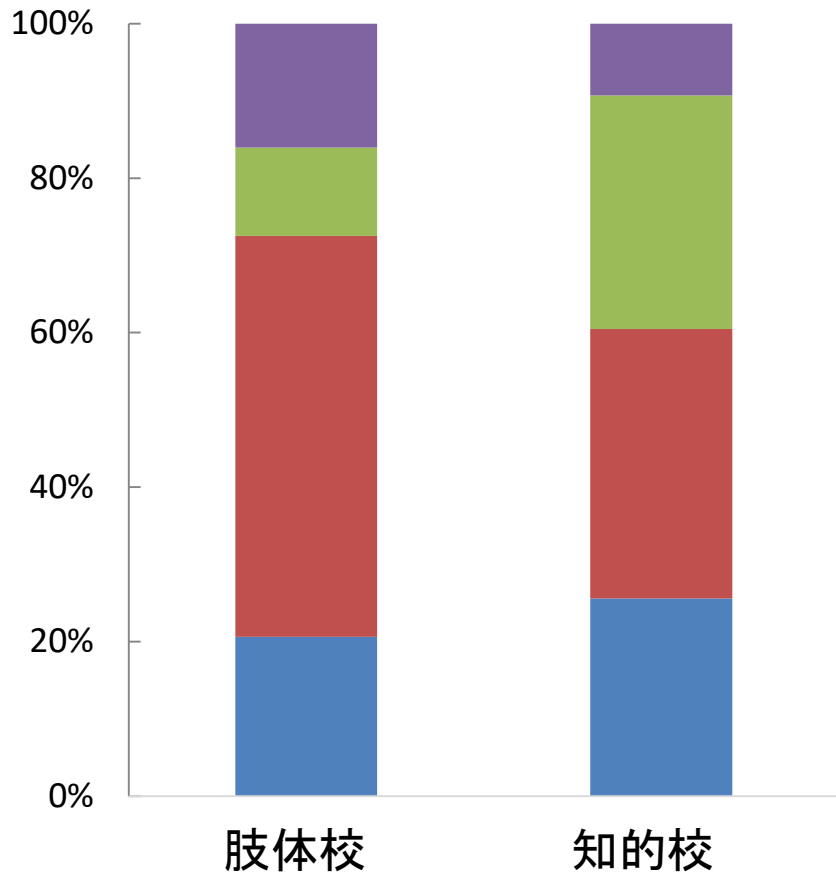
再調理



再調理

■ 困っている ■ 困っていない ■ 実施なし ■ 未記入

食事介助

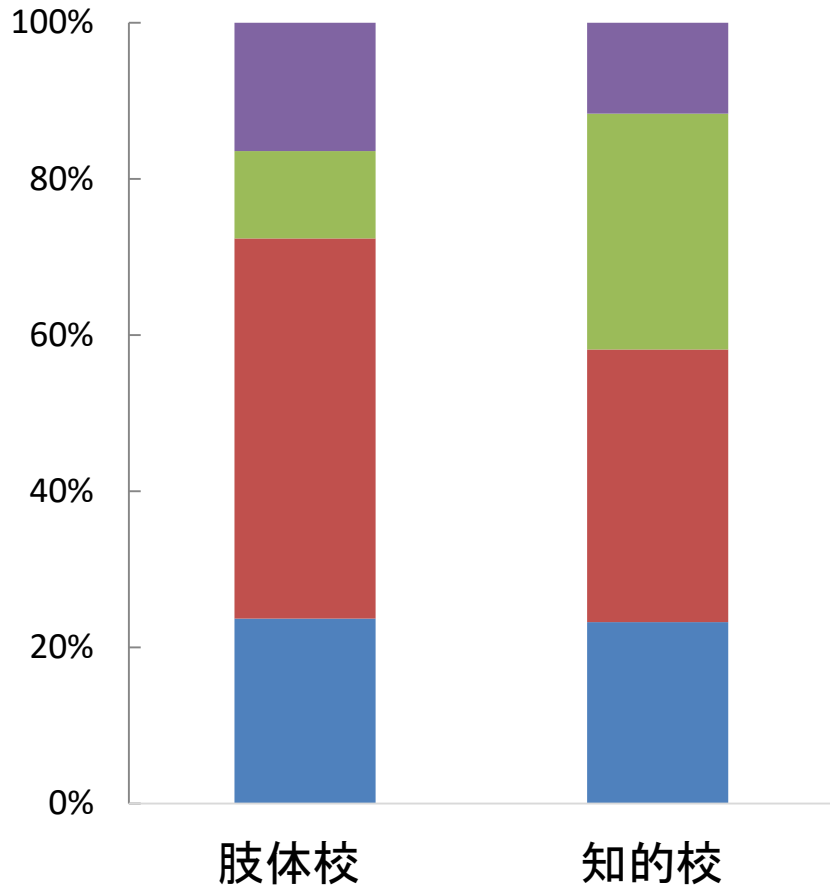


■ 困っている ■ 困っていない ■ 実施なし ■ 未記入

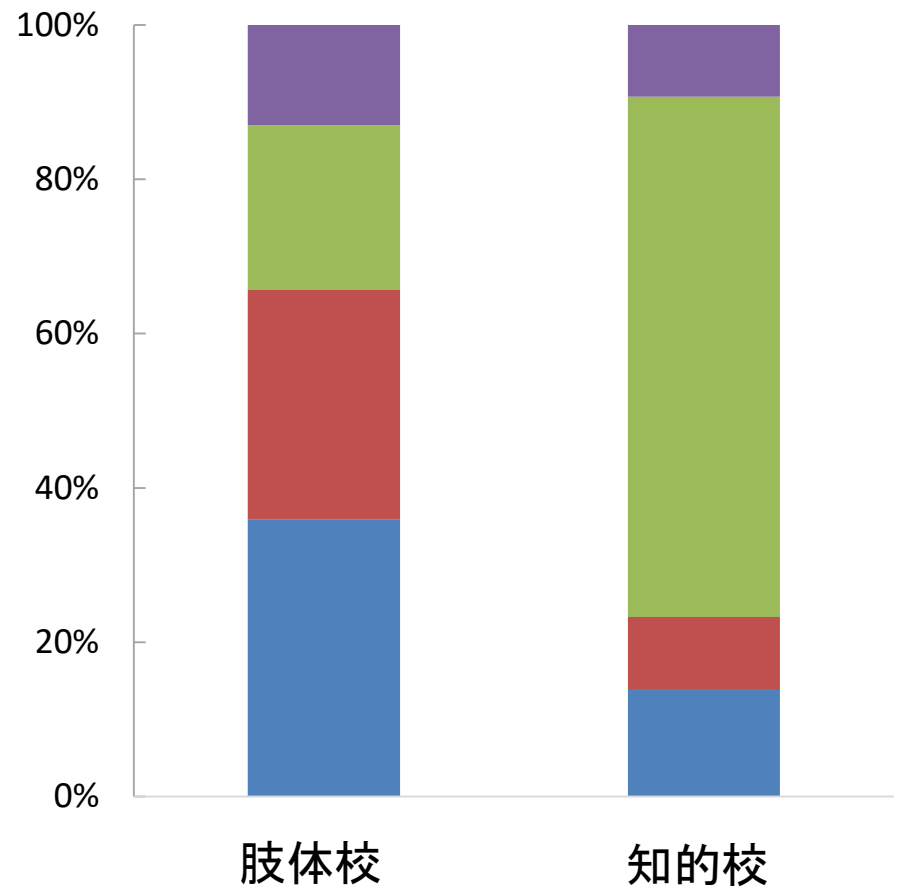
食事介助の実施

PPEの着用

食事介助2



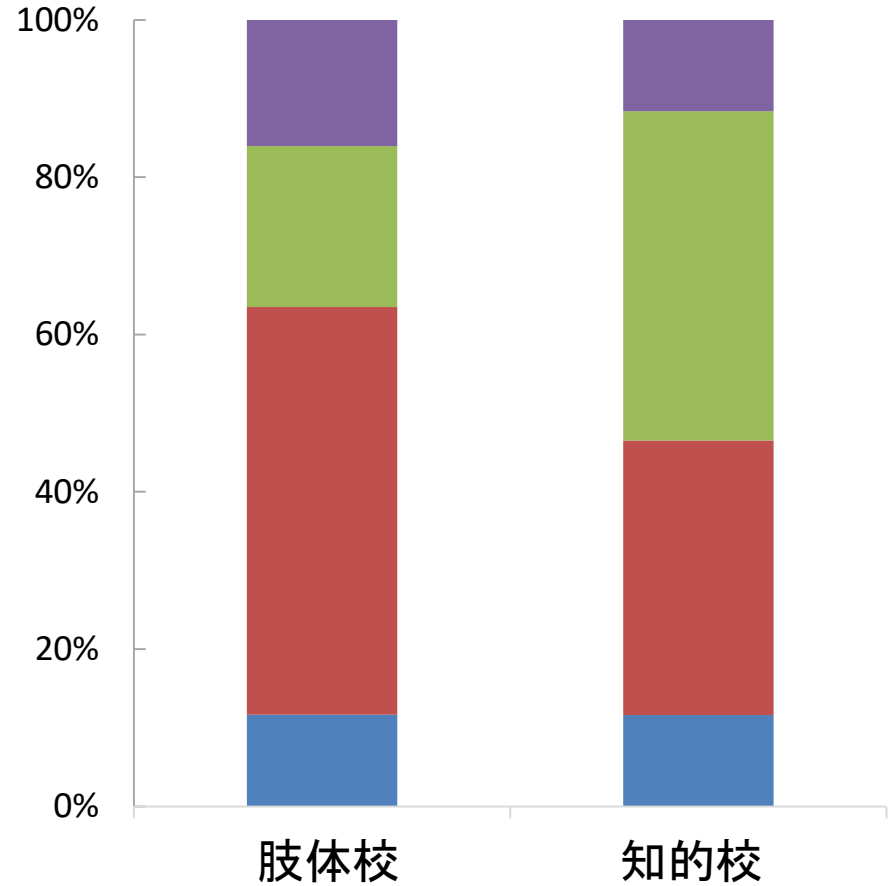
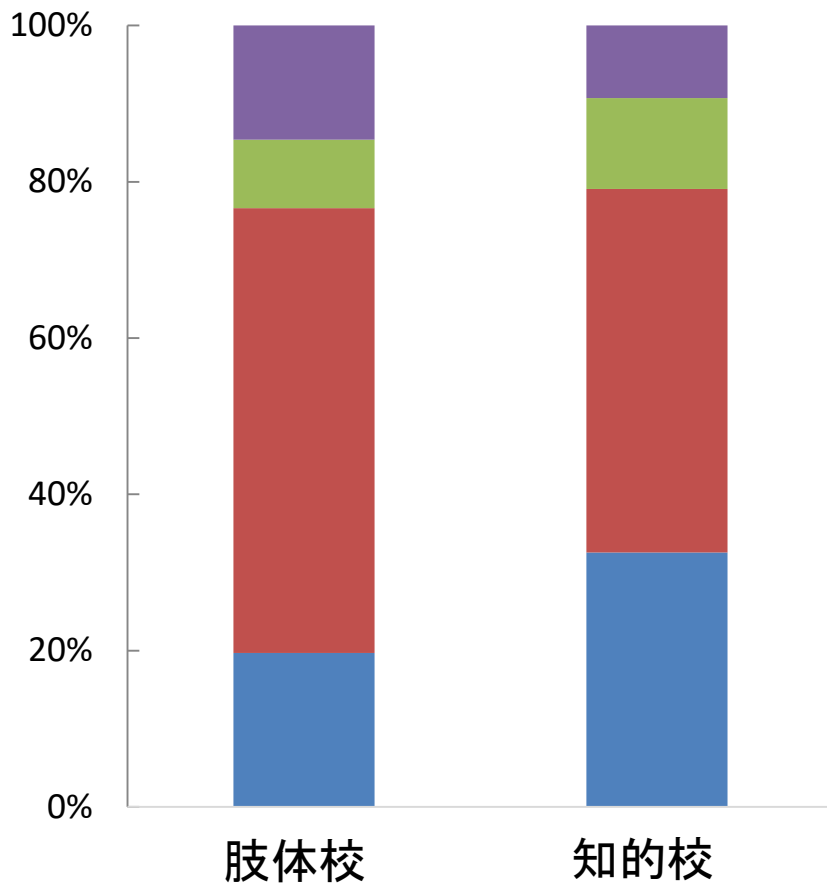
介助する位置



口のマッサージなどの実施

■ 困っている ■ 困っていない ■ 実施なし ■ 未記入

口腔衛生1



困っている 困っていない 実施なし 未記入

児童生徒の歯みがき

歯みがき粉の使用

口腔衛生2

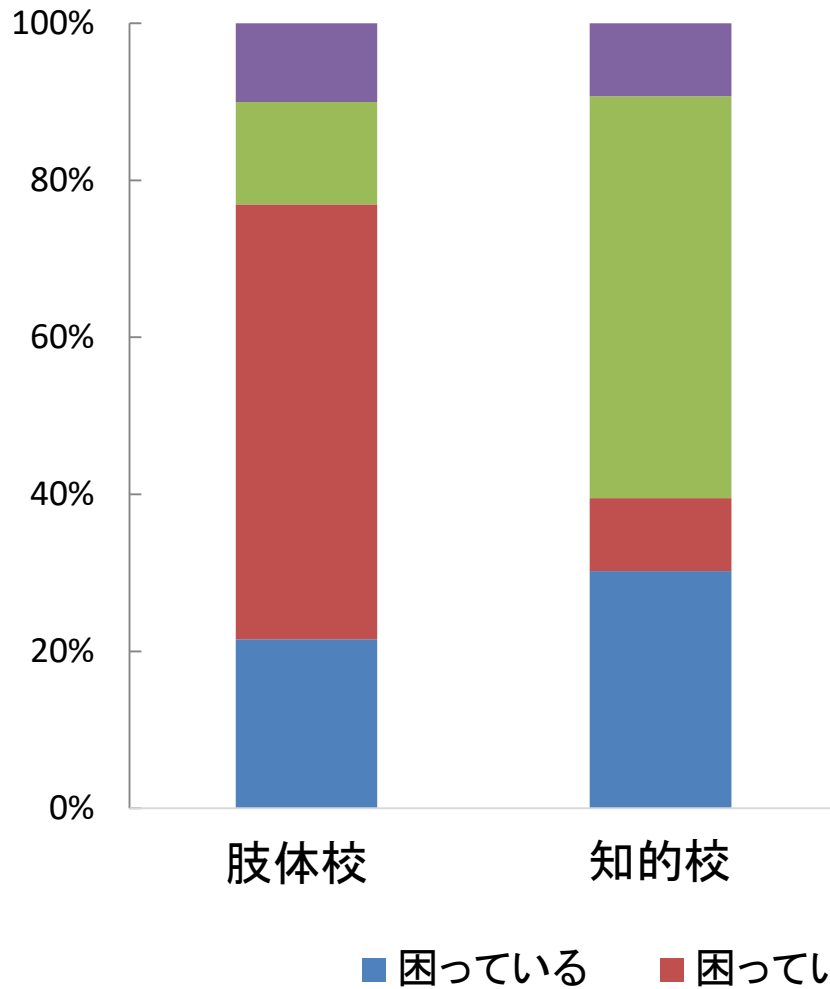


図22 教員の仕上げ磨き

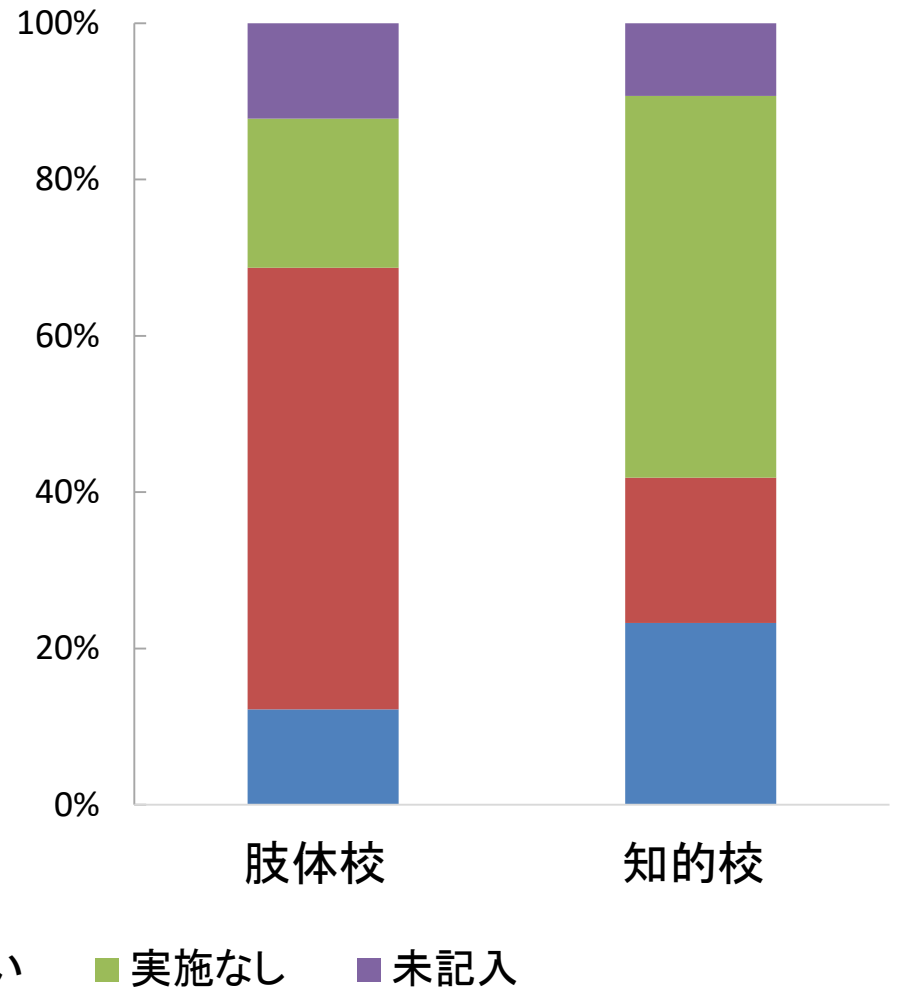


図23 仕上げ磨き時の教員の服装

まとめ

学校給食におけるCOVID-19対策に困っている内容は様々であった。特に、肢体校と知的校の両校では食事場所、肢体校では食事時間やマッサージの実施などの接触感染対策、知的校では会話や介助、仕上げ磨きなどによる飛沫感染対策について困っていることがわかった。接触や飛沫の対策は、児童生徒への指導だけでは限界がある。そこで、不安なく教員が給食の対応できる環境が求められる。そこで、学校給食再開にむけた感染症対策マニュアルの作成を行い、情報発信として作成したWEBページ“食事支援における円滑な医療機関と教育機関の連携(医教連携)に向けて <http://spc.ce.cst.nihon-u.ac.jp>”に掲載を行った。また、調査にご協力頂いた全国の特別支援学校に郵送し、活用をしていただくこととした。COVID-19対策で医療職が教員に対面で指導することができない状況下でこれらの試みが有用であると考えられる。